



SECURE-IBDについて

研究除外対象のコロナウイルス疫学調査（SECURE-IBD, Surveillance Epidemiology of Coronavirus Under Research Exclusion）は、COVID-19に罹患した成人及び小児の炎症性腸疾患（IBD）患者さんの転帰を観察、報告するための国際データベースです。私達は、全世界の成人及び小児のIBD団体との協力、透明性、速やかなデータの共有に尽力します。国境を超えて実施することで、COVID-19がIBD患者さんに及ぼす影響を、また、年齢、併存疾患、IBD治療等の因子がCOVID-19の転帰に及ぼす効果を速やかに明らかにします。

報告方法と内容について

全世界でIBDの診療に従事する医師に対して、重症度にかかわらずCOVID-19に罹患したIBD患者さん全例の報告を要請します。

報告に要する時間は最大5分です。

したIBD患者さん全例の報告を要請します。報告に要する時間は最大5分です。

私達はかつてない危機に直面しています。皆で団結して立ち向かいましょう。

企画者について

本企画はノースカロライナ大学チャペルヒル校に所属するMichael Kappelman医師（小児消化器内科）とErica Brenner医師（小児消化器内科フェロー）、及びマウントサイナイ医科大学に所属するRyan Ungaro医師（消化器内科）により主導されています。

米国HIPAAのセーフハーバーに基づく匿名化基準に従い、本データベースは匿名化されたデータのみを扱います。本企画における匿名データの保管と分析は、データは各提出プロバイダーの適切な国固有のガイダンスに従ってください

をご覧ください
covidibd.org



SCAN HERE

最新情報や症例の報告はwww.covidibd.orgをご覧ください。



SECURE-IBDのプロモーションおよび財務サポートは、複数の製薬会社から提供されています。企業パートナーのリストについては、www.covidibd.orgをご覧ください。